

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校のnoteでも
行事などの様子を
発信しています！

3年生三陸みらい探究発表会 ～私が18年間で身に付けた大槌(ハンマー)～

2/4(土)に、大槌高校を会場に3年生の「三陸みらい探究発表会」を実施しました。49名の生徒それぞれが、自分が今までで1番お世話になった人をゲストとして1人招待し、1対1でプレゼンテーションを行いました。今年度、初めて開催したこの発表会の様子をお伝えします。

発表会のテーマは「私が18年間で身に付けた“大槌(ハンマー)”」。“大槌(ハンマー)”とは、本校のコンセプト「大海を航る大槌を持とう」で使われている「経験を通して身に付けた力・強み」を意味します。生徒たちは、それぞれが18年間の経験を振り返り、自身が身に付けた力についてのプレゼンテーションを作成しました。どの生徒も、当日来てくださるゲストのことを想像しながら一生懸命作成を進めました。

迎えた発表会本番。マイプロジェクトでお世話になった地域の人、幼稚園・小学校・中学校でお世話になった先生、保護者など、約50人に発表を聞いてもらいました。生徒は、例えばキャベツの芯のように固く何事にも折れない精神力を表す「キャベツの芯力」、自分だけでは達成できないことも、他の人を頼って協力してもらうことで達成できる「他力本願力」など、1人ひとりが考えたオリジナルの大槌(ハンマー)について語りました。また、会の途中では生徒とゲストでお互いに手紙を交換し、中には生徒と関わった当時を回想し、成長した姿に思わず涙を流すゲストも。会の終わりに感想を共有し、生徒からは「この18年間、家族や地域、先生にたくさん支えられてきたことを実感しました」、ゲストからは「震災やコロナなど、様々な困難を経験してきた子どもたちがこうして前を向いている姿が嬉しかった」といった感想が挙がりました。会場全体が笑顔で溢れ、参加者がそれぞれの思い出や未来に思いを馳せる温かい場となりました。



大槌高校ホームページで公開中！



生徒それぞれの大槌(ハンマー)は、大槌高校のホームページで公開しています！ぜひご覧ください！(右側のQRコードからアクセスできます)



新たな魅力づくりに向けて～新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)～



大槌高校は今年度、文科省から「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」の全国20校の中の1校として指定を受けました。この事業を通して、これまで地域のみならずと一緒により上げてきた大槌高校の魅力は今後も更に発展させていけるよう、様々な構想や取り組みを行っています。広報おおつちでも今後、こうした取り組みの様子を定期的にお伝えさせていただきます。今回は、今年度実施してきた生徒ワークショップや教職員研修で挙げた声を紹介します。

新たな魅力づくりに向けた生徒・教職員の声

- 様々な分野の専門家から学ぶ機会を増やしてほしい(生徒)
- 分からない問題を復習できる授業をつくってほしい(生徒)
- コースに関係なく、もっと自由に科目を選択したい(生徒)
- 制服や学校生活のルールについて、深く考えたい(生徒)
- 大槌高校にしかない魅力的な活動を更に発信する(生徒)
- 自分の専門分野を通して魅力化に貢献していきたい(教員)
- 自分の授業を魅力的なものに進化させていきたい(教員)
- 生徒の進路実現に向けたサポートに力を入れたい(教員)
- 地域の方が親しみを持って関わられる学校にしたい(教員)
- 生徒の学びを支える充実した図書館をつくりたい(教員)